

名古屋言語研究会 開催実績

第 176 回例会

日時：2018 年 4 月 27 日(土) 午後 3 時

場所：名古屋大学文学部棟 4 階 409 号室日本語学リテラチャーラボ

発表者：岩月 真也 氏 (名古屋大学文学研究科言語学専攻・博士後期課程)

題目：On the Geminated Consonants of Amharic-An Acoustic Analysis

第 177 回例会

日時：2019 年 6 月 29 日(土) 午後 2 時

場所：名古屋大学文学部棟 1 階 110 大会議室

発表者ならびに題目：

三宅 俊浩 氏 (名古屋大学大学院博士後期課程)

中世室町期における二十比知恵のカナウについて

山口 響史 氏 (愛知淑徳大学)

近世期における受身分の東西差

第 178 回例会

日時：2019 年 9 月 28 日(土) 午後 2 時

場所：名古屋大学文学部棟 1 階 110 大会議室

発表者ならびに題目：

鈴木 基伸 氏 (大手前大学)

格交替からみた「やすい」文分類の試み

丹羽 叶 氏 (名古屋大学人文学研究科日本語学分野・専門博士前期課程)

明治期の小説テキストにおける時制表現

第 179 回例会

日時：2019 年 11 月 23 日(土) 午後 2 時

場所：名古屋大学文学部棟 1 階 110 大会議室

発表者ならびに題目：

中村 能盛 氏 (名古屋大学言語学研究室)

日本のフランス文学受容に言語教材と修道士が果たした役割

—1890 年から 1920 年代を中心に—

余 飛洋 氏 (名古屋大学人文学研究科日本語学分野・専門博士後期課程)

モノスの自・他用法と他助詞用法の拡大について

第 180 回例会

日時：2020 年 1 月 25 日(土) 午後 2 時

場所：名古屋大学文学部講義棟 1 階 129 講義室

発表者ならびに題目：

勝又 隆 氏（福岡教育大学）

上代におけるミ語法の構文構造と形容詞の語構成について

吉本 裕史 氏（名古屋大学人文学研究科日本語学分野・専門博士後期課程）

形式名詞「とおり」の成立に関する一考察